



# 今後の茨城県北ジオパークを語る会

2019年7月28日 茨城大学水戸キャンパス

## 1. S D G s とジオパーク 小荒井 衛 (茨城大学理学部教授)

S D G s (持続可能な開発目標) は2015年に国連加盟193か国が決定した2030年に達成を目指す国際的な目標です。ユネスコのプログラムであるジオパーク活動の持続可能な地域づくりは、S D G s 達成へ貢献が期待されています。S D G s とはなんなのか? その入門編を学び、私たちの身近なジオパーク活動にS D G s の考えを取り入れて活動してゆきたいと思います。



## 2. 「語る会」ファシリテーター：松原 典孝

(兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科)

テーマ

- 今までのジオパーク活動で良かったこと、達成感を味わったこと。
- これからジオパーク活動で何を伝えてゆきたいか?
- ジオパークの仲間づくり (市町村、地域、他の団体、企業、他のジオパークなど)



奥久慈 凜子

# 今後の展開について（事務局の勝手な考え）

## 7月28日 「今後の茨城県北ジオパークを語る会」

茨城県北G Pの実質的な活動主体であるI P、及び、行政関係者のメンバーが集まり、ブレーストーミングスタイルで今後の展開をリードするようなアイデア出しを行いたい。

## 9月ごろ 「今後の茨城県北ジオパークを考える会」（公開討論会）

茨城県北において、2度のイエローカードによる認定取消しを受けて、あらためてジオパークを推進する意義を考える。ジオパークに関わる人たちが、何を伝え、地域がどうなってほしいのか？ そのためには何が出来るのか？ 何が足りないのか？ 地域課題の解決にジオパークは有効なのか？ を考え方向性を見出したい。

→茨城県北ジオパーク構想の**基本理念**と**基本計画**の策定に役立てたい。

→茨城県央、県北地域で**ジオパーク活動を進める意義をみんなで共有**したい。

# 「語る会」の3つの約束

みんなで協力して楽しい語る会にしよう。


**聞く**

他人の話は敬意をもって傾聴しよう。話を断ち切ったり、茶化したりしない事。

**発言する**

参加者は全員が発言しよう。  
(発言者が偏らないように進行します。)

**批判はダメ**

「語る会」はブレインストーミング。  
すべての意見にいいね！  しよう。

# (参考) ミスコミュニケーションの3つの要因

～ 伝えたいことが正しく伝わらない理由 ～

**省略** 自分が持っているすべての情報を言葉にして伝えない。

**歪曲** 事実のありのままではなく、自分の解釈を加えた情報を言葉にして伝える。

**一般化** 一部の情報をあたかも全体の情報であるかのように、決めつけて伝える。